

ヒトが人間になるための進化の歴史

帯刀益夫（東北大学名誉教授）

第2回 「人間」とは

「ヒト」と「人」、「人間」はどう違うのか

拙著では、まず、類人猿の一種である先祖の「サル」から、どのような道筋をたどって「ヒト」へ進化したかをたどっています。ここでは省略して、「ヒト」が「人間」となる進化の過程をお話します。

「ヒト」という表現は、一つの生物種を示し、「人間」と区別して使っています。われわれは、この一生物種の「ヒト」のことを、普段、「人」、あるいは「人間」とよんでいます。

では、「ヒト」と「人」、「人間」はどう違うのでしょうか。

「人間学」は、一般に「人間とは何か?」、「人間の本質とは何か?」という問いに哲学的な思考と実証的な調査で答えようとする学問ということになっています。

ギリシャ時代の成立当時は、人間の自然本性の理論、とくに心と身体を対象とする心理学、解剖学、身体学、つまり、自然科学的視点が濃厚であったのですが、18世紀以後は人間の文化的特質にも及び、19世紀以降は自然人類学、文化人類学が成立し、20世紀以降には人間に関する諸学を「人間科学」と総称するようになりました。

人間科学は、言語学、人類学、精神科学、心理学、社会

科学的探究の発展を反映して、「人文科学」に代わるものとして用いられています。学問の進歩は深みを増すにつれ、それぞれの知識の領域が専門化され、細分化されてゆき、統合的な理解ができなくなっていました。それとともに、過去のひとびとが求めていた総合的な「人間学」は分断され、それと共の「人間」も「分断化」されてきてしまっているのです。

われわれは、ホモ・サピエンス(Homo sapiens)、つまり「理性の人」と呼ばれる生物種ですが、これにならって、ホモ・ソシアリス(Homo socialis(社会的な人))、ホモ・ローケンス(Homo loquens(言葉を話す人))、ホモ・モリス(Homo moralis(道徳の人))、ホモ・ファアベル(Homo faber(働く人))、ホモ・ポリティカス(Homo politicus(政治家))、ホモ・エコノミカス(経済人)など、いくつかの

呼称があります。

「人間」はこうした属性の総称ですが、こうした特性は、「人間」の特徴をよく表現しているといえます。

もちろん、人間のこうした特性は、それぞれが独立したのではなく、総合的な表現型が「人間」なのです。

これらの特性が進化の過程で独立の選択を受けたわけではありませんが、「ヒト」から「人間」になってゆくため

に、こうした「人間」の特性がどのようにして生じてきたかは興味ある課題です。

そこで、生物進化の立場から研究が進んでいるホモ・ファアベル(働く人)、ホモ・ローケンス(言葉を話す人)に注目して解説したいと思います。今回は、「ヒト」がどのようにしてホモ・ファアベル(働く人)になったかを説明します。

毎月「戦争法」廃止をめざしスタンディング行動

「戦争法に反対する町民の会」では、毎月1回「安保法制」の廃案を目指し、スタンディング行動を行っています。

7月16日、20人以上がツルヤ前でのぼり旗やプラスタ―を持って意思表示を行い、買い物客や車からの応援もありました。



コラム 有明

105歳の医師、日野原重明さんが亡くなりました。100歳を過ぎても

現役の医師を続け、元気に活動する姿は驚きでしたが、一番感動したのは「平和」に対するゆるぎない思いでした。▼2年前日野原さんは将来を担う子どもたちに向け、著書「戦争といのちと聖路加国際病院ものがたり」を出版しました。「命と平和の尊さを次世代に語り継ぐことは大切な使命」と東京大空襲で大やけどを負った人々を物資不足で救うことができなかった経験などをつづり「戦争をしない平和な世界の実現を一緒に考えてほしい」と訴えています。▼日野原さんは安全保障関連法について「私は絶対反対です」と語り、憲法9条の果たしている役割の大きさを訴えていました。▼100歳を過ぎても世界の平和を考え、行動できる人でした。学校を訪ね、子供たちに「強力な武器を、より強力な武器でたたかう」とすると悪循環になる。結論が出なくても、話し合いを続けることが必要」と述べ、武力を行使しない「非戦」の立場を貫くべきだと話していたと報じられています。日野原さんが訴え続けたことを、大切にしていきたいものです。

部内資料

発行責任者 太田 勅 (62-5727)
議員連絡先 うすい孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)
編集責任者 山本 久子 (61-1066)

189号

2017年7月

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ



当選した19名の都議会議員と志位和夫委員長が訴え 7/3

都議選で自民惨敗

日本共産党19議席に躍進

全国が注目した東京都議選挙が7月2日行われました。その結果は自民党が現有議席57から、過去最低の23議席へ惨敗しました。

小池知事人気に乗った「都民ファーストの会」旋風の中、「日本共産党も厳しい状況」とマスコミ報道もありましたが、共産党は19議席へ躍

核兵器禁止条約

国連会議で圧倒的多数で採択

核兵器を非合法化する「核兵器禁止条約」が、7月7日国連会議で122ヶ国の圧倒的多数の賛成で採択されました。

条約は前文で「ヒバクシャの受け入れ難い苦しみに留意する」と明記、核兵器の非人道性を告発し、国連憲章・国際法などの違法性を明確にしています。そして核抑止力論を否定しました。

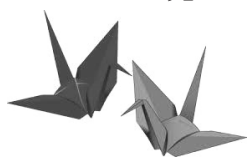
させた安倍内閣の強権的やり方、そして憲法9条「改憲策動」に、都民が「ノー」の審判を下したものです。

都議選後の共同通信社調査による内閣支持率は一挙に35%（不支持53%）に急落。東京だけでなく全国の動向が現れています。

また、9日投票の沖縄那覇市議選でも、日本共産党は1議席増の7人全員が当選しました。

唯一の戦争被爆国の日本政府が、核保有国に同調し条約に背を向ける態度は、世界から批判を受けています。

日本が核兵器禁止条約に参加する運動を強めましょう。野党と市民の共闘による「非核の政府」実現の展望を見出しましょう。



核のない世界に!